

| 科目名   |   | 授業形態  | 担当教員名            |      |
|---|---|---|------------------|------|
| 人間関係論   |   | 講義・演習                                       | 木村 和弘            |      |
| 時間数（単位数）  |   | 授業回数  | 年次               | 開講時期 |
| 30 時間 （ 2 単位）   |   | 15 回  | 1 年次             | 前期   |
| 授業の目的・概要  |   |   |                  |      |
| 医療従事者は、様々な背景をもつ他者と関わり、人間関係を適切に構築する必要があります。そのために、まずは自分のことを良く知る必要があります（自分の価値観、コミュニケーションの傾向等）。そして、人の多様性を理解し、思いやりの心や他者を尊重する気持ちを持ってコミュニケーションを行うことが重要です。本科目では、コミュニケーションに関する基本的知識と態度を身につけ、協力的に人と関わる体験を通してコミュニケーションの意義と重要性を学ぶことを目的とします。 |   |   |                  |      |
| 授業の到達目標   |   |   |                  |      |
| ①コミュニケーションの意義と重要性を説明できる。<br>②コミュニケーションの方法と技能を説明できる。<br>③相手に関心をもって人の話を聞くことができる。<br>④話し手聞き手の役割りに基づいて適切なコミュニケーションスキルが活用できる。<br>⑤コミュニケーションにより良好な人間関係を築き、このスキルを活用しチームの一員として責任を果たせる。  |   |   |                  |      |
| 授業計画  |   |   |                  |      |
| 回   | 内容  |   |                  |      |
| 1   | コミュニケーションの基本 ～良いコミュニケーションとは？専門職のコミュニケーションとは？～ |   |                  |      |
| 2   | 良いコミュニケーションのための人間行動理解                         | その① 人間関係の形成を考える                             | ～愛着理論～           |      |
| 3   | 良いコミュニケーションのための人間行動理解                         | その② 人間関係のための自己理解                            | ～自己覚知～           |      |
| 4   | 信頼関係を構築するためのコミュニケーション                         | その① 傾聴の具体的方法                                | ～3つの面接技法～        |      |
| 5   | 信頼関係を構築するためのコミュニケーション                         | その② 事例を通して傾聴を学ぶ                             | ～バイステック7原則～      |      |
| 6   | 信頼関係を構築するためのコミュニケーション                         | その③ 伝える力・プレゼンテーション・連携の為の伝える力                |                  |      |
| 7   | 対人援助職者のための人間行動理解                              | その① 喪失するという事                                |                  |      |
| 8   | 対人援助職者のための人間行動理解                              | その② ターミナルケア                                 |                  |      |
| 9   | 対人援助職者のための人間行動理解                              | その③ ストレスコーピング                               |                  |      |
| 10  | 患者様への接し方を考える。                                 | その① 医療専門職の職業倫理から考える                         |                  |      |
| 11  | 患者様への接し方を考える。                                 | その② 実践事例から考える                               |                  |      |
| 12  | 患者様への接し方を考える。                                 | その③ 高齢者への接し方                                | ～身体・心理特性を配慮した対応～ |      |
| 13  | 患者様への接し方を考える                                  | その④ 身体機能・精神機能をアセスメントして対応する                  |                  |      |
| 14  | 患者様への接し方を考える                                  | その⑤ ご家族への対応                                 |                  |      |
| 15  | 多職種連携とコミュニケーション                               | 全体のまとめ                                      |                  |      |
| 成績の評価法と基準   |   |   |                  |      |
| 種別  | 割合  | 評価基準・その他備考                                  |                  |      |
| 定期試験  | 40%   | 選択式問題と、作文問題を出題します。                          |                  |      |
| レポート  |   |   |                  |      |
| 小テスト  |   |   |                  |      |
| 平常点   | 30%   | 毎回、個人ワーク、グループ討議を行います。取り組みの姿勢、学びについて評価します。   |                  |      |
| その他   | 30%   | 毎回、講義の最後に「今日の学び」というミニレポートを書きます。その内容による評価です。 |                  |      |
| 自由記載  |   |   |                  |      |
| 教科書   |   |   |                  |      |
| 書名  | 著者・編集者名                                       |   | 出版社名             |      |
| なし  |   |   |                  |      |
|   |   |   |                  |      |
|   |   |   |                  |      |
| 自由記載  | 毎回、資料を配布します。                                  |   |                  |      |
| 参考文献  |   |   |                  |      |
| 書名  | 著者・編集者名                                       |   | 出版社名             |      |
| なし  |   |   |                  |      |
|   |   |   |                  |      |
| 自由記載  |   |   |                  |      |
| 備考  |   |   |                  |      |
|   |   |   |                  |      |